

■ SDGs への取り組み

カーボンニュートラル（脱炭素）への取り組み

1. ゼロカーボンシティ実現に向けた包括連携に関する協定書の締結について

令和4年2月3日、富士宮市地域の更なる環境保護等を促進させ、脱炭素社会の実現を通じて持続的な地域発展に向けた協力・連携を目的として、当金庫・富士宮市・富士宮商工会議所・芝川商工会・他5者による「ゼロカーボンシティ実現に向けた包括連携に関する協定書」を締結しました。

本連携協定により、①エネルギーの地産地消の推進、②再生可能エネルギーの創出・導入及び利用拡大、③地域資源を活用した事業の創出、④地域循環共生圏の構築、⑤次世代の環境教育の普及等に取り組み、それぞれが有するノウハウを最大限に生かし合いながら、持続可能な地域発展を目指しています。



2. カーボンニュートラル（脱炭素）に向けた当金庫の取り組み

地球温暖化の最大の原因は、大気中に排出される温室効果ガスであり、その代表が二酸化炭素（CO₂）です。これらの温室効果ガスにより大気中に太陽熱が閉じ込められ地球全体を温める効果を持っています。

当金庫では、カーボンニュートラル（脱炭素）・環境保護に向けて、営業時間外の事務室内の消灯、クールビズ・ウォームビズによる室温調整等により電気使用量を減少させ二酸化炭素の排出を削減することや二酸化炭素を吸収する森林保護の観点からコピー用紙使用量の削減に努めています。

3. 静岡県東部4信金（富士宮信用金庫・三島信用金庫・沼津信用金庫・富士信用金庫）の役職員による食料支援の実施について

静岡県東部4信金「共同SDGs宣言」によるSDGsの「目標12：つくる責任 つかう責任」における食品ロス減少に寄与するため、東部4信金の役職員が協力し各家庭に眠っている食料品（お米、乾麺、缶詰、ビン類、インスタント・レトルト食品）を持ち寄りました。

持ち寄った食料品は、新型コロナウイルス感染拡大等の影響を受け、生活が困窮している方への支援品として、それぞれが関係する地域の社会福祉協議会等の支援団体を通じて、寄贈致しました。

